

第9回委員会での主なご意見と対応

	ご意見	対応
1	資料2 P3 No.4の「～本市の生涯学習施設は充実していると言えます」と言い切っているが、別の表現がよいのではないか。	ご意見のとおり、パブリックコメントの対応を修正した。
2	資料2 P4 No.5の「一般的ではないため」は強い表現なので、別の表現がよいのではないか。	ご意見のとおり、パブリックコメントの対応を修正した。
3	資料2 P6 No.11に、今後も施設利用について周知していく旨を記載してはどうか。	ご意見のとおり、パブリックコメントの対応を修正した。
4	武蔵野市は伝統的に地域・コミュニティのつながりが強い。これを前提に、市民自らが今後新しいまちづくりを推進していくイメージを計画のどこかに盛り込めないか。	計画案はご意見の内容を既に基本的な考え方や理念として含んでいるものと考えているが、P30 基本方針3の前文を修正し、ご意見のイメージを補強した。
5	資料2 P9 No.22に「『新しい時代の新しいテーマ』とはいったい何なのか」とあるが、確かにイメージがわきづらいのではないか。	ご意見のとおり、計画案を修正し、あわせてパブリックコメントの対応も修正した。
6	資料2 P9 No.22に「『子育てにも仕事にも役立つ学びの機会の提供』も具体的なイメージがわからない」とあるが、現在計画案に記載されている「テーマ」からのアプローチではなく、「ターゲット」からのアプローチも必要ではないか。	ご意見のとおり、計画案を修正し、あわせてパブリックコメントの対応も修正した。
7	資料2 P10 No.24 の対応として、「社会の求める能力、価値観、感覚、態度等を身に付けるために学ぶことも重要です」とあるが、「社会の求める」を市民主体の表現に変更してはどうか。	ご意見のとおり、修正した。
8	資料2 P11 No.27 の対応として、「学習機会を全ての人々に提供しようとする標語として」とあるが、市が主催する学習機会だけではなく学びのサポートをすることもあるわけだから、「学習機会を「学び」に変更してはどうか。	ご意見のとおり、修正した。ただし、「学び」は本来市民が主語となるべきものであって、市が提供するものではないため、「学び」に鍵括弧をつけた。

9	資料2 P13 No.35は重要だと考えるので、もっと対応欄を充実させてほしい。	計画案1-3にご意見の内容を含む記述が既にあると考えるが、ご意見を踏まえ、同箇所を修正した。
10	計画案に、近隣市との連携について記述してほしい。	ご意見のとおり、修正した。